

便 所

住まいの中でも便所は一日に何度も使用される重要な場所のひとつです。

健康なときには気づかなくても、身体機能が低下すると、便座への立ち座りも思うようになりません。

そのために使いやすさと安全性に配慮することが重要です。

- 車椅子での使用を考慮して、広い開口を確保し出入り口の段差をなくす。
- 和風便器から使いやすい洋風便器への改修。
- 使用者の利き腕や身体状況に配慮した適切な位置に手すりを設置。

使いやすい出入口

ポイント

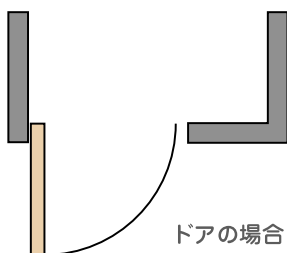
・開き戸は身体を動かしながらの開閉となるため、定位置のままで開閉できる引き戸がよいでしょう。



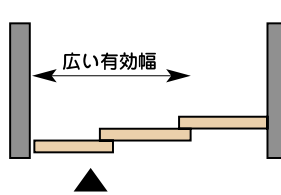
3枚引き戸の設置例



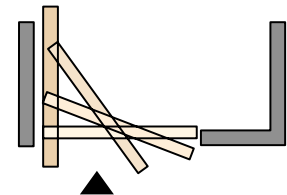
引き込み戸の設置例



ドアの場合



1枚目を引くと2枚目も連動



扉が部屋の中に引き込まれてゆくため身体の移動はほとんどない

簡単に和風便器を洋風便器にする方法



足元に踏み台をつけないと少々高く不安定になるかも

両用便器に取り付ける場合



- ・便座と床との段差が高くなるので、足元に高さを調節する踏み台が必要。
- ・立ち座りのためのドアとの寸法が確保できるか確認。

和式便器に取り付ける場合



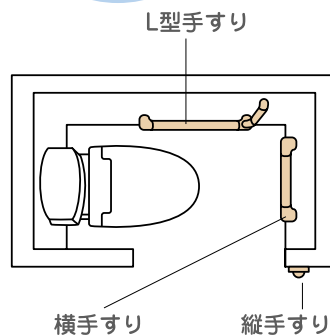
- ・スペースや臭い・衛生面で注意が必要。

便所の手すり

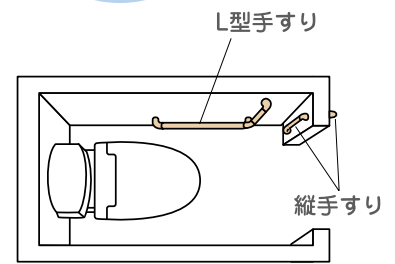


ワンハンドカット紙巻器
(片手でトイレットペーパーがカットでき便利)

便器の横にドアがある場合



便器の正面にドアがある場合



ポイント

手すりを設置する場合は、座るための横手すりと立ち上がりのための縦手すりがそれぞれ必要です。